

個人山行・幌別鉱山 カマンベツの沢

山行日時	平成30年7月14日（土曜日）
リーダー&参加者 計6人	CL 小山内、SL 山岸 近藤、鈴木、川村、八重樫
天候	曇りのち晴れ

(7:00) 見晴公園発 (7:20) ゲート駐車場着

(8:00) 入溪

雨降りが続いたせいか水量が有る。流れはまあまあ、とてもきれいな川、最初の一步は“ツメテ”今日の天気は雨の心配なさそう。穏やかな一日になりそう。

(8:10) 取水の堰

10分程遡行すると堰があり左側を高巻きする。熊が蕨を食べた形跡あり水量多く流れも早いのでリーダーはコースを見極めながら行く。二つ目の堰堤のふもとで釣り人が溪流釣りを楽しんでいた。ここは右側を高巻きする。倒木を登り・降りし水に入る。結構深い（膝まで水の中）



(8:30) 分岐

広い川原に出た、青空も現れた。風もあり、さわやか。

ここで長い休憩、水分補給と小食を摂る

気温は26°Cとの事だがそれ程暑さは感じない。ここからは左側の沢を遡行する。

(9:00) 初老の滝

水流が少なければ滑床なのだろうが、今日は流れに足を持って行かない様踏ん張って歩く。高さ15~20m程の一筋に流れ落ちる滝が見えてきた。S女史はこれを「初老の滝」と名付けた。青く澄んだ深みに石を投げ入れては魚達を驚かせてみたりと・・・と何だか遠い遠い昔を思い出しました。

(9:25) 縮小した羽衣の滝

二つ目の滝です、とてもきれい。どんどん遡行すると兩岸が狭まってきた。滑り落ちない様何とか“ヘツリ”で通り抜けホットしていると先はゴルジェ。

Yサブリーダーが偵察に行く。

水量多い・流れ強い、とのことで“バツ”のサインあり。



(9 : 50) 撤退

この先は危険とのこと、少し戻り林道迄のブッシュの急登を漕ぎ分け登ること15分、立派な林道に出た。

この林道を500m程進み行くが、土砂と倒木が道をふさいでいた。

2Km 駐車場まで下りる。途中も土砂崩れ箇所があり、車での通行は出来ない状況でした。

(11 : 00) 駐車場着

木陰で早めの昼食をとる。

12時過ぎ見晴し公園で解散。

利尻、礼文の交流登山が控えているので、軽い沢登りを、とのリーダーの配慮でした。
久しぶりに晴れた日、気持ち良い沢登りを楽しみました。
リーダーはじめ皆さんありがとうございました。



(S・Y記)